

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願-

現在、八千代医療センター消化器内科では、関西医科大学内科学第三学講座と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記研究機関に対して提供しています。

下記共同研究課題での利用のため本学から提供する残余検体・診療情報等については、この共同研究での利用・提供についての同意が研究対象者の方から得られていませんが、当該利用・提供を行うことについて、「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由等が倫理委員会によって認められて、本学の理事長が提供を許可しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方もしくはそのご家族の方の中で、ご自身もしくはご家族の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんもしくはそのご家族の方に不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名] 超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) による1型自己免疫性膵炎の病理司式診断についての多施設共同研究

[共同研究の代表責任機関及び研究代表者]

代表責任機関・研究代表者：関西医科大学内科学第三講座・教授 岡崎和一
本研究に関する問い合わせ先：関西医科大学内科学第三講座・講師 池浦 司
電話：072-804-0101 (応対可能時間：平日9時～16時)

[利用・提供の対象となる方]

2010年1月～2017年12月までの間に、当院消化器内科において超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)の検査を受けた膵疾患の方 超音波内視鏡下穿刺吸引法とは、胃や十二指腸などの消化管から超音波内視鏡で膵臓の腫瘤を観察し消化管から針を刺して組織を採取する方法です。

[利用・提供している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：生検組織 (病理組織標本、病理標本ブロック)

診療情報等：診断名、年齢、性別、検査結果 (血液検査、画像検査、病理検査)、ステロイド治療の有無と効果、EUS-FNA検査で用いた生検針・生検回数 等

[利用・提供の目的] (遺伝子解析研究：無)

EUS-FNA組織検体で、膵癌と非腫瘍性膵疾患を病理医が正しく区別できるかを検証し、1型自己免疫性膵炎の生検診断のための指針を作成するため

[主な共同研究機関及び研究責任者] (営利企業との共同：無)

本研究では、上記の検体・診療情報等は、上記代表責任機関以外にも、下記の他の共同研究機関等に対して提供されています。

倉敷中央病院 病理診断科 能登原憲司 (病理診断科主任部長)

都立駒込病院 神澤 輝美 (副院長)

[利用・提供期間および主な提供方法]

期間：倫理委員会承認後より2020年3月までの間 (予定)

提供方法：□直接手渡し ■郵送・宅配 □電子的配信 □その他

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：八千代医療センター消化器内科 診療科長 西野隆義

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：047-450-6000 (内線7010) (応対可能時間：平日9時～16時)